

# きのこ

## 1 夏季の栽培環境維持と節電の対策

栽培施設内と屋外の温度等の環境条件が最も異なる季節になります。安定生産のために施設内の栽培環境を維持するとともに、消費電力を抑えて経費を抑制しましょう。

### (1) 栽培室内の空気循環(風通し)の確保

- **生育室** 棚の両サイドやコンテナと壁際の間隔を 10～20cm 程度確保する
- **培養室** 積み上げたコンテナやパレット間、壁際との間隔を 15～30cm 程度確保する
- 補助ファンやクーラーを空回しして空気循環を行う

### (2) 外気流入による施設内の急激な温度変化の防止

- **ドアや窓** 開閉回数と開閉時間の削減 (外気の流入防止)
- **出入口** (外気流入の防止、栽培室内から冷気の拡散防止のために) カーテンを設置

### (3) 直射日光の遮断

- **外壁や窓** 「よしず」や寒冷紗等日よけの設置
- **窓(室内側)** レースのカーテンやブラインド等の設置

### (4) 空調関係機器の性能低下の抑制

- **室外機** 「よしず」等による日よけの設置、設置周辺部の風通しの確保、打ち水
- **ラジエーターやフィルター等** ゴミや埃(ホコリ)の定期的な除去・洗浄を実施

### (5) その他(施設改善)

- 照明器具をLED等の省エネタイプへの交換
- 屋根への断熱塗料の塗布、屋根裏への断熱材の設置
- 散水システムの設置(地下水が利用できる場合)

## 2 異物混入防止のための計画的な清掃と作業方法の見直し

混入リスクを減らすために、場所や機器等によって清掃の頻度や方法を工夫して、計画的、定時、定期的に清掃を行いましょ。また、作業動線を意識した物の配置や物が動かしやすくする等を改善して、作業時間を削減しましょ。作業は安全第一が基本ですが、作業効率の向上も目指しましょ。

### (1) 定時・定期清掃の目安

- 始業時(毎日) 更衣場所
- 休憩後(毎日) 休憩場所
- 作業終了後(毎日) 床、通路、手洗い場、トイレなど
- 週1回程度 不要品・廃棄物の整理・処分など
- 月1回程度 普段の清掃で手の届きにくいところなど

### (2) 作業方法の見直し例

- 栽培コンテナ、収穫コンテナ、包装用資材、出荷用ダンボール等の台車、移動可能なパレットなどを利用して、直置きせずに床から離して管理する。
- 器具、工具など：使用場所や頻度ごとに分類して、収納場所を決めるとともに、作業員全員がわかるように収納位置等を掲示し、整理整頓を行う。